

令和3年度シラバス(英語) 学番 30 新潟県立中条高等学校

教科(科目)	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2単位	学年(学科)	2 学 年
使用教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)		授業形態	必 修	
副教材等	All Aboard! English Communication II ワークブック チャンクで英単語 Basic (三省堂)				

1 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 ・英語を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、幅広い視野から自己理解・国際理解を深める。
--

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での学習した内容をふまえ「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を使って英語で情報を受け取るだけでなく、発信することができるようにする。 ・コミュニケーションを支える文法・語法を学ぶと同時に、教科書の内容を通して、異文化だけでなく、さまざまなことさらに興味を持つきっかけになるようにする。 ・教科書の表現や語句を使って、簡単な自己表現ができるようにさせ、英語を発信する喜びを感じさせる。

3 指導計画

授業計画と授業の内容	時間	授業計画と授業の内容	時間
1学期中間まで Lesson 1: Fantastic Festivals 文法:比較表現 活動:身近な行事について英語で発表する	8	2学期期末まで Lesson 4: Living with Robots 文法:分詞 活動:未来についての考察	12
1学期期末まで Lesson 2: Dancing with Freedom 文法:関係代名詞 活動:自分を表現すること	12	3学期末 Lesson 5: Special Makeup in Kabuki 文法:不定詞 活動:日本の伝統文化の発信	16
2学期中間まで Lesson 3: The Spirit of the Forest 文法:間接疑問文 活動:環境について考える	13	学年末考査終了後 Reading 1 Mujina 文法:現在分詞・過去分詞・不定詞 活動:なじみのある日本の怪談を英語で味わう	3
			計 64 (55分 授業)

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
授業に積極的に参加し、ペアワークやグループワークでは他の生徒と協力して取り組むことができる。	学習した表現や単語を使って、自分のことを相手に伝えたり、質問したりすることができる。	英文を読んだり、聞いたりして、その内容（情報・意見など）を概ね理解することができる。	英語の学習をきっかけに、他文化や歴史的な背景に興味を持ち、さまざまな知識を吸収しようとしている。
以上の観点を踏まえ、授業への参加状況、課題提出、テストの観点から総合的に評価します。			

5 担当者から一言

英語に予習、復習は大切ですが、まずは日々の授業を大切にしましょう。そして授業で学習した内容は家でしっかりと復習をすることが肝心です。その際、教科書の英文を声に出して何度も読みましょう。声に出して読めないものは理解したり、覚えたりすることはまずできません。

評価については、定期考査だけではなく普段の授業への積極的な姿勢、課題テスト、プリント、ワークなどの提出物の状況から総合的に判断して行います。英語ができないからと言ってあきらめないでください。しっかりと取り組めば、十分理解することができるはずです。英語を好きになれば、勉強することも楽しくなると思いますが、好きじゃなくても苦手ではないと言えるように頑張りましょう。

※週末課題の提出、長期休暇明けの課題・課題考査もこの科目の評価に入ります。

We got your back ! You can make it!

教科(科目)	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3単位	学年(学科)	3 学 年
使用教科書	Compass English CommunicationⅡ (大修館)		授業形態	必 修	
副教材等	Compass English CommunicationⅡ ワークブック				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。

中学校、高校1・2年で学習した内容をふまえ「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能について英語で情報を受け取るだけでなく、発信することができるようにする。

2 指導の重点

- ・授業における発問や英文を聞いて、その概要や要点を理解することができる。
- ・様々な内容の英文を読み、その内容を理解することができる。また、聞き手に伝わるように音読することができる。
- ・教科書で学んだ内容や自分の知識・経験に基づき、簡単な英語で自分の意見を書いたり、相手に伝えたりすることができる。
- ・教科書の表現や語句を使って、簡単な自己表現ができるようにさせ、英語を発信する喜びを感じることができる。

3 指導計画

授業計画と授業の内容	時間	授業計画と授業の内容	時間
1学期中間まで Lesson5: Table for Two (文法) S+V+O ₁ +O ₂ (O ₂ =if 節),複合関係詞, S+V(知覚動詞)+O+過去分詞 (表現) 登場人物の心の動きを意識しながら英語で音読することができる。	13 (55分)	2学期期末まで Reading2: The Mary Celeste Lesson9: Money around the World (文法) 比較表現、関係副詞 (表現) 物語や映画、ドラマなどの要約を書くことができる。	23 (55分)
1学期期末まで Lesson6: Architect in Action (文法) 助動詞+have+過去分詞 (表現) 将来の夢やしてみたい仕事について簡単な英語で書くことができる。	19 (55分)	3学期末 Lesson10: Water Reading3 (文法) 強調構文など (表現) 与えられたテーマについてグループで話し合い、結果をまとめて書くことができる。	18 (55分)
2学期中間考査まで Lesson7: Sleeping and Dreaming Lesson8: Life in a Jar (文法) 比較(倍数表現) (表現) 日常の話題についてグループで話し合い、結果をまとめることができる。	23 (55分)		計 96 (55分)

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
授業に積極的に参加し、ペアワークやグループワークを通じて他者と協力して取り組むことができる。	学習した文法、表現、単語を使って、自分のことを相手に伝えたり、質問したりすることができる。	英文を読んだり、聞いたりして、その内容（情報・意見など）を概ね理解することができる。	英語の学習をきっかけに、他文化や歴史的な背景に興味を持ち、さまざまな知識を吸収しようとしている。
以上の観点を踏まえ、授業への参加状況、課題提出、ペア・グループ活動(発表)、小テスト(単語テスト・音読テスト・暗唱テスト含む)、定期考査から総合的に評価します。			

5 担当者から一言

英語に予習、復習は大切ですが、まずは日々の授業を大切にしましょう。そして授業で学習した内容は家でしっかりと復習をすることが肝心です。その際、教科書の英文を声に出して何度も読みましょう。声に出して読めないものは理解したり、覚えたり、ましてや使ったりすることはできません。

評価については、定期考査だけではなく普段の授業への参加・貢献度、課題テスト、プリント、ワークなどの提出物の状況だけではなく、他者と協力・協働しているかなど総合的に判断して行います。英語ができないからと言ってあきらめないでください。しっかりと取り組めば、十分理解することができます。英語を好きになれば、勉強することも楽しくなると思いますが、好きじゃなくても苦手ではないと言えるように頑張りましょう。

一年間一緒に頑張りましょう！